

SHRIC

年次活動報告書 2023

上智大学 国際協力人材育成センター

☎ 03-3238-4687

✉ hrc-ic-co@sophia.ac.jp

🌐 <https://dept.sophia.ac.jp/is/shric/>



センター所員 (2024年3月現在)

■センター所長	植木 安弘 (大学院グローバル・スタディーズ研究科)
■所員	東 大作 (グローバル教育センター教授)
	曄道 佳明 (学長、理工学部教授)
	小松 太郎 (総合人間科学部教授)
	廣里 恭史 (グローバル教育センター教授、 Sophia GED 代表取締役社長)
	まくどなるど あん (大学院地球環境学研究科教授)
	丸山 英樹 (総合グローバル学部教授)
	鈴木 政史 (大学院地球環境学研究科教授)
	梅宮 直樹 (グローバル教育センター教授)
	皆川 友香 (国際教養学部准教授)
	山崎 瑛莉 (Sophia Future Design Platform推進室 University Education Administrator)
客員所員	浦元 義照 (GR Japanシニアコンサルタント)
	柴田 晋吾 (大学院地球環境学研究科客員所員)



2023年度年次活動報告書の刊行にあたって

センター所長 植木 安弘 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)

上智大学国際協力人材育成センター (SHRIC) は、2015年7月の創設より、国際協力の分野で活躍できるグローバル人材の育成を目標とし、精力的な活動を続けています。またセンターの活動は、本学の学生のみならず一般の皆さまにも公開しています。2023年度はオンライン、ハイフレックス、対面と柔軟にイベントを実施しました。多様な実施方法によりイベントや講座では、東京近郊以遠の地域や海外からも多くの方に参加いただきました。本学恒例の「アフリカWeeks」(5月)や「国連Weeks」(6月・10月)は、主にハイフレックス形式にて開催され、当センターも世界が直面するグローバル課題やSDGs、国際協力、さらに人工知能 (AI) など多岐にわたる分野のイベントを企画、実施しました。その他では、当センター主催の「国際機関セミナーシリーズ」、「国連職員と話そう！」企画も国際機関や国連職員の方々の協力を得て実施し、大変好評なセミナーとなっています。

さらに当センター主催の公開講座、「国際公務員養成コース」と「同英語コース」(春期・秋期)、「緊急人道支援講座」(春期・秋期)、「国際機関実務者養成コース」(秋期、バンコクのSophia GEDと主催)も全てオンラインにて開講しました。また、夏期に開講した「実務型国連集中研修」においては、ニューヨークの国連本部や国際機関で実施され、国連事務局やUNDP、ユニセフ、国連人口基金 (UNFPA) の人事担当官や現役の職員などが講義を行いました。これらすべての講座を合わせて日本国内、海外から120名を超える受講者がありました。

センターの出版事業「グローバルキャリアのすすめ」第7弾は、「人新世～人類よ、絶滅を選ばぬ～ 国連キャリアのすすめ・現場からの報告をもとに進化する国連の使命：平和と持続可能な開発の相互関連性」と題し、国連開発計画 (UNDP) 前駐日代表の近藤哲生氏に執筆いただき刊行しました。多国間外交、平和と開発、SDGs、人間の安全保障などがハイライトされています。

現在、グローバル課題が紛争や自然災害などの影響を受け、さまざまな分野に及んでいます。国際協力の必要性はこれまで以上に高く、国際協力の分野で活躍できる人材育成が急務です。当センターでは、グローバル人材の育成を通じてさらに国際社会に貢献できるように尽力しています。



2023年度の活動



国連本部

© UN Photo/Manuel Elias

公開講座

国際公務員養成コース **春期** **秋期** **オンライン**

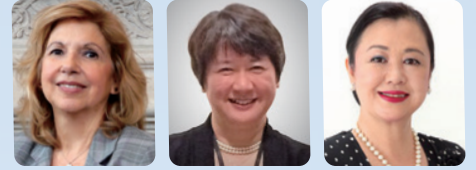
国際公務員養成英語コース **春期** **秋期** **オンライン**（※講義は英語）

本年度もオンラインコースとして、各12セッションを平日の夜間と土曜日を利用して行い、日本国内外より、多くの社会人や学生に参加いただきました。センター所長の植木安弘教授がコーディネーターを務め、養成コースは、元国連事務局、ユニセフ、世界銀行などで人事官を務められた方々、外務省の国際機関人事センター室長などが中心に行い、英語コースは、国連事務局で長年勤務され、英国で英語教員の資格を持つアン＝マリー・アイバネス先生にお願いしています。

実務型国連集中研修 **夏期** **ニューヨークにて実施**

また、8月にはニューヨークの国連本部や国際機関において5日間の「実務型国連集中研修プログラム」を開催しました。講義では、国連の現職スタッフや元職員を講師に招き、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行いました。実際の現場を身近に感じることができ、将来のキャリアプランがより具体的になるような効果があります。

いずれの講座も高評価を得ており、受講した方の中からも、国連職員や国際機関に採用された方が出てきており、少しずつですが成果を挙げてきています。



講師（左から）

アン＝マリー・アイバネス氏、茶木久美子氏、玉内みちる氏

国際機関実務者養成コース **東南アジア地域における国際教育開発・訓練と協力** **秋期** **オンライン**

本講座は、国際機関などでのキャリア形成を目指す社会人や学生を対象とし、当センターと本学がバンコクに設立した教育事業会社Sophia Global Education & Discovery (Sophia GED)との共同で2020年度秋期から開講しています。今年度は、国際教育開発に焦点を当てた内容で、当センター所員、グローバル教育センター教授兼Sophia GED代表取締役の廣里恭史氏がコーディネーターを務め、オンラインにて平日の夕方週2回、計10回行われました。東南アジア、特にメコン地域に重点を置き、国際機関の現役・元職員講師による講義は、それぞれの国際機関が取り組む課題のみならず、実務的な知識・スキルとキャリア形成にかけられる各講師の実体験を踏まえた臨場感に溢れた内容となりました。

緊急人道支援講座 **春期** **人道支援の基礎知識** **オンライン**

秋期 **人道支援のスキル** **オンライン**

本講座は、緊急人道支援に取り組むための基礎的知識やスキルを身に付け、その後のキャリアに生かしてもらうことを目的とし、講義と演習を組み合わせる効果的な学びを得られるように工夫されています。講座は当センター所員で総合人間科学部教育学科の小松太郎教授が監修し、日本国際ボランティアセンター（JVC）の木村万里子氏にコーディネーターをお願いしています。また元国連WFPの忍足謙朗氏には講義だけでなくアドバイザーとしてもご協力いただいています。その他NGOや国連、赤十字、民間機関等から経験豊富な講師陣が体系的カリキュラムに沿って講義を行いました。受講者の中には早速緊急人道支援の仕事に就く方や、受講終了直後に現場に赴く方もおり、講座での学びが役に立っているようです。

講座監修：
小松 太郎教授コーディネーター：
木村 万里子氏アドバイザー：
忍足 謙朗氏

シンポジウム・講演会

国連Weeks

国連アカデミック・インパクトの参加大学である本学では、「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考えるとともにSDGsの促進に寄与すること」をコンセプトにさまざまな企画を実施しており、国際協力人材育成センターもこれまで数多くのシンポジウムや講演会、キャリアセミナーを企画し開催しています。

《第19回》

6月1日

「国連専門機関の役割と日本の取組み」

【共 催】外務省

国際社会が直面する課題と国際機関の役割・連携をテーマに冒頭、国際民間航空機関（ICAO）よりシャキターノ理事会議長をお迎えしICAOの役割やSDGsへの貢献について講演いただきました。また、外務省職員の方々からは、さまざまな国連機関の活動を紹介してもらい、地球規模課題に対処する日本の協力と取組について議論しました。その後、事前に寄せられた質問や参加者からの質問に答えるパネルディスカッションが行われ、盛況となりました。（モデレーターは植木所長）

6月1日 シンポジウム



6月5日

「国連改革は可能か」 **オンライン**

植木所長がモデレーターを務め、国連でさまざまな経験を持つ3人の専門家が国連改革について論じるオンラインシンポジウムを開催しました。それぞれが、「国際行政学の見地からの試み」（猪俣氏）、「G7サミットを経て見えてきた国連改革の課題」（神余氏）、「国連改革は可能か～共有価値という視点から」（キハラハント愛氏）と題して国連改革を論じた後、パネルディスカッションを行いました。

*猪俣 忠徳 氏（日本国際連合学会理事、元国連合同監査団独立監査官、元オゾン層保護多数国間基金執行委員会議長）

*神余 隆博 氏（関西学院理事、関西学院大学特別任期制教授、国連・外交統括センター長、元国連大使）

*キハラハント 愛 氏（東京大学大学院教授、持続的平和研究センター長）

6月8日

「SDGs中間地点での評価と今後の課題」

2030年までの達成に向けたSDGsの中間評価を行うとともに、今後の課題について議論するシンポジウムを開催しました。国連事務次長補で国連訓練調査研究所（UNITAR）総代表であるニキル・セス氏が、オンラインで講演を行い、国連グローバル・コミュニケーション局アウトリーチ部長のマーヘル・ナセル氏は、目標達成のためには一般市民の協力が不可欠と指摘。また、2025年に開催される大阪万博と国連の関わりについても言及しました。その後、国連広報センターの根本かおる所長は、データをもとに、日本におけるSDGsの認知度や関心度を解説し、さまざまな課題に対してアクションを起こすよう呼びかけました。さらに森下哲朗グローバル化推進担当副学長と上智学院サステナビリティ推進本部の学生職員が上智学院のSDGsおよびサステナビリティ活動について紹介しました。（モデレーターは植木所長）

6月23日

「北東アジアにおける 未来の平和に関する若者の提言」

【共 催】国連政務・平和構築局（UNDP/PPA）

若者が北東アジアの平和と安全にどのように貢献できるかを考えるパネルセッションを開催しました。国連政務・平和構築局（UNDP/PPA）より政務官のシエラ・ジオング・シン・パーク氏と、同局リエゾン・オフィサーのマリーナ・ローラン氏、平和構築へ向けての提言や人材育成などを行うユースピースビルダーズとして活躍している日本、中国、モンゴルの各国代表者とともに参加者も交え議論を行いました。（モデレーターは植木所長）



6月23日 パネルセッション

《第20回》

10月7日

「パレスチナ難民の若者から見たガザ地区の今 —日本・UNRWA70周年—」

【共催】国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA)

翻訳家でラジオパーソナリティのキニマンス塚本ニキ氏の司会の元、植木所長の冒頭挨拶から始まり、パレスチナ難民の歴史的背景と、国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) の紹介がありました。

続いて、UNRWA保健局長の清田明宏氏から、現地の活動について説明があり、ゲストであるガザのUNRWA学校の中学生3人が紹介されました。シンポジウム後半では、参加者から、日本の若者へのメッセージや、人々の共存のためにできることは何か、などさまざまな質問が寄せられました。



10月7日 シンポジウム

10月10日

「国連大学学長 (国連事務次長)

チリツィ・マルワラ教授による特別講演」

国連大学学長のマルワラ教授をお迎えし、急成長を遂げている人工知能 (AI) とそのガバナンスについて、また国連が掲げるSDGsにどうAIが対応できるかを具体例とともに解説いただき、今後の課題に倫理や法規制、セキュリティなどAIとの向き合い方について講演いただきました。また、本学の理工学部情報理工学科のゴンザルベス タッド教授が加わりAIの将来や国際協力分野での活用などについてパネルディスカッションを行いました。

(モデレーターは植木所長)



10月10日 国連大学学長 マルワラ教授 (中央)

10月23日

「持続可能な食システムへ

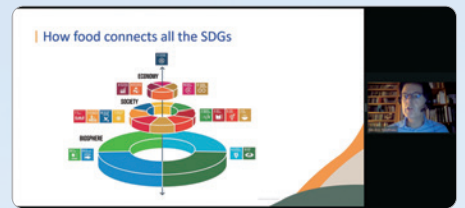
：いかに転換させるか？」 **オンライン**

【主催】
上智大学、
グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)
【協力】
国際連合大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)、
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

グローバルな食システムにおけるSDGsと環境問題のインターリンクージュに焦点を当てた食品のバリューチェーンにおけるSDGsとの関係性について専門家や本課題に取り組む企業のみなさんと議論しました。

● 基調講演

「食料システム全体の脱炭素化に向けたEUの道筋
：農場から食卓までの戦略」
エリック・ボンシュー氏
(元欧州経済社会評議会農業・地域開発と環境担当ユニット長)



10月23日 オンラインシンポジウム

10月24日

「東ティモールにおける国連の役割」

冒頭、国連デーに合わせてグテーレス事務総長のビデオメッセージを国連広報センターの根本おたる所長に紹介していただきました。東ティモールの事例をもとに、平和創造や平和構築にかかる国連の役割を改めて専門家である元国連事務総長特別代表兼国連東ティモール・ミッション責任者のイアン・マーティン氏 (オンラインでの参加)、国連事務総長特別代表兼国連東ティモール平和維持構築ミッション責任者で、現京都芸術大学特別教授、京都国際平和構築センター長の長谷川祐弘氏、元国連東ティモール暫定行政機構構人権担当官で現東京大学大学院教授のキハラハント愛氏と議論しました。参加者からは、貧困、教育をどの様に解決したのかなどさまざまな質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。

(モデレーターは植木所長)



10月24日 シンポジウムのチラシ

キャリアイベント

国際機関セミナーシリーズ

さまざまな国際機関と共同で、各機関をより身近に感じ理解してもらうことを目的にキャリアセミナーを企画しています。

第38回 11月7日「若者とイノベーションが創るアジア太平洋の未来」共催：国連開発計画 (UNDP)

上智大学四谷キャンパス内、国際会議場にて国連開発計画 (UNDP) と共催でセミナーを開催しました。

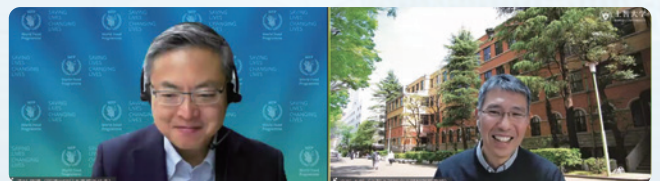
UNDP駐日代表事務所パートナーシップ専門官の横田氏による司会のもと、来日中のカンニ・ウィグナラジャ 国連事務次長補兼UNDPアジア太平洋局長をお迎えして、冒頭に基調講演をしていただきました。UNDPアジア太平洋局が行う取り組みの中からコース、起業支援、民間連携などについてご紹介いただきました。その後、UNDP駐日代表事務所よりハジアリッチ秀子駐日代表と天野氏、UNDPインド事務所の河野氏、起業家であるアイフォスリー合同会社の長岡氏が加わりパネルディスカッションを行いました。



セミナーのチラシ

「国連職員と話そう！」第33回 — 国連WFP津村氏を迎えて — **オンライン**

好評企画の「国連職員と話そう！」は、10月30日に国連世界食糧計画 (WFP) 日本事務所代表の津村康博氏を迎えてオンラインにて開催しました。(モデレーターは、当センター所員の小松教授) 国連職員への道はそれぞれですが、キャリア形成、国連WFPの業務内容や取組み、フィールドでのご経験などについて津村氏よりお話を伺うことができました。また、参加者の皆さまから事前または当日に多くの質問が寄せられ、それぞれの質問にお答えいただきました。オンラインでありながら皆さまが活発に参加いただける場となりました。



津村氏 (国連WFP)

小松教授 (上智大学)

キャリア・セッション「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」

国際機関や国際協力分野における様々なフィールドの第一線で活躍されている本センターのアドバイザー・ネットワークの方々や外務省国際機関人事センターのご担当者をゲストに迎え、グローバルキャリアについての講演や参加者とのクロストークセッションを開催しました。 **講演のみオンライン配信**
(所属機関名および役職名は開催日現在のもの)

◀6月12日▶ 春の国連Weeks

基調講演：“Situation of Children globally, UNICEF's work and Career Opportunities”
「世界の子どもたちを取り巻く状況とUNICEFの活動 —国際機関で子どもたちのために働くということ—」

ロベルト・ベネス氏 (国連児童基金 (UNICEF) 東京事務所代表)
(モデレーター) 植木 安弘 教授 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、国際協力人材育成センター所長)

キャリア・ワークショップ：

下村 理恵氏 (国連世界食糧計画 (WFP) 日本事務所副代表)
高梨 寿氏 (一般社団法人 海外コンサルタンツ協会 前専務理事、元国連UNIDO工業開発官)
成田 詠子氏 (国連人口基金 (UNFPA) 駐日事務所長)
大森 功一氏 (世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官)
ロベルト・ベネス氏、本多 紗耶香氏 (UNICEF東京事務所)
山口 忠彦氏 (外務省国際機関人事センター室長)、中野 美智子氏 (同センター課長補佐)
(国際協力人材育成センター) 植木所長、浦元所員、山崎所員

◀10月20日▶ 秋の国連Weeks

特別講演 (オンライン)：「グローバルキャリアのすすめ」

山下 真理氏 (国連コンボ暫定統治機構セルビア・ベオグラード事務所長 兼 国連事務総長代表)
隈元 美穂子氏 (国連訓練調査研究所 (UNITAR) 持続可能な繁栄局長)
(モデレーター) 植木 安弘 教授 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、国際協力人材育成センター所長)

キャリア・ワークショップ：

近藤 哲生氏 (国連開発計画 (UNDP) 前駐日代表、京都大学大学院特任教授)
ハジアリッチ 秀子氏 (国連開発計画 (UNDP) 駐日代表)
浦元 義照氏 (GR Japanシニアコンサルタント元国際労働機関 (ILO) 事務局長補アジア太平洋地域総局長、元国連児童基金 (UNICEF) 専門職員)
山下 邦明氏 (元国連教育科学文化機関 (UNESCO) 職員)
羽鳥 良人氏 (外務省国際機関人事センター課長補佐)
(国際協力人材育成センター) 植木所長、梅宮所員、山崎所員



春の国連Weeks
チラシ



秋の国連Weeks
チラシ



UNICEFベネス氏による基調講演



ワークショップの様子(10月)

出版事業

2018年から毎年新刊が登場

【国際協力・国際機関人材育成シリーズ】

発行元：株式会社国際開発ジャーナル社
発売所：丸善出版株式会社

「人新世 ～人類よ、絶滅を選ばな～」

2024年3月発行
著者：近藤 哲生
：国際協力人材育成センター アドバイザー・ネットワーク・メンバー
国連開発計画 (UNDP) 前駐日代表
京都大学特任教授、上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科非常勤講師

最新刊



国際協力・国際機関人材育成シリーズの
NO.1から最新刊までの
詳しい内容はこちら



1 「世界銀行ダイアリー」
2018年4月発行
著者：鈴木 博明
：元世界銀行主席都市専門官

2 「歴史に生きる」
2019年1月発行
著者：植木 安弘
：上智大学大学院グローバル・スタディーズ教授
/元国連広報官

3 「国際緊急人道支援の
キャリアと仕事」
2020年4月発行
編集：小松 太郎
：上智大学総合人間科学部教授

4 「格差と夢」
2021年4月発行
著者：浦元 義照
：元上智大学 特任教授
/元UNICEF、UNIDO、
ILO職員

5 「心の中に平和のとりでを築く」
に魅せられて
2022年4月発行
著者：山下 邦明
：元国際連合教育科学文化機関
(UNESCO) 職員

6 「国際公務員とキャリア戦略」
2023年4月発行
著者：茶木 久美子
(元国連人事官)、
玉内 みちる
(元ユニセフ人事官)

上智大学 <https://www.sophia.ac.jp>

国際協力人材育成センター 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 1号館1階 SFDP推進室内 Tel：03-3238-4687

SHRIC Facebook
<https://www.facebook.com/SophiaHRIC/>



SHRIC X
@SHRIC2015



SHRIC Instagram
shric_sophia

